

課題233
採択番号23306

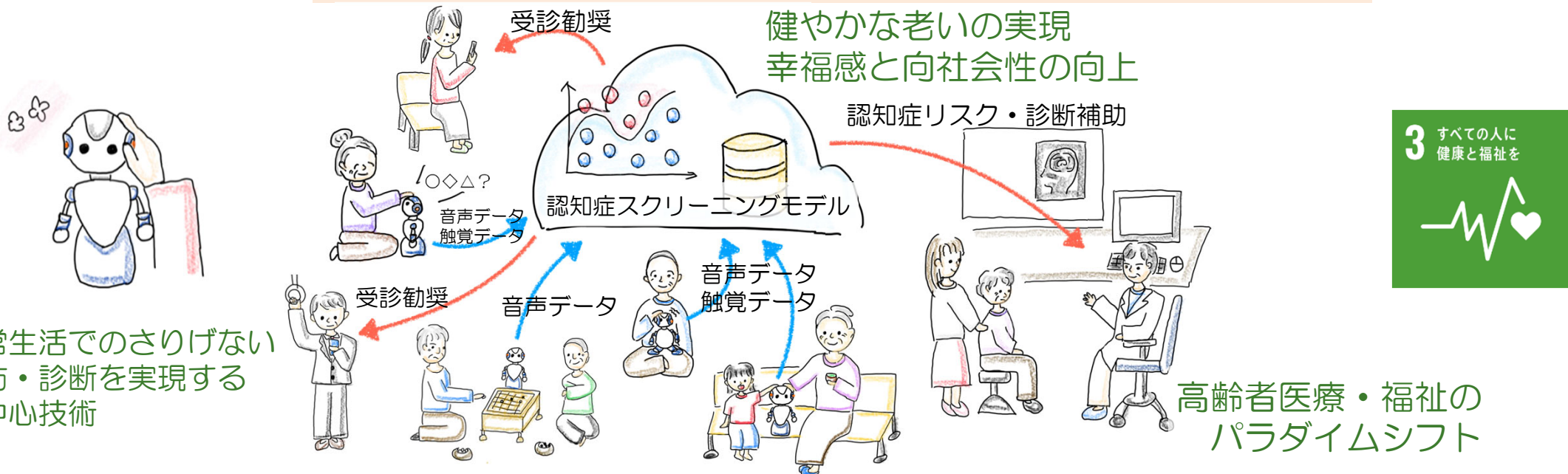
データ利活用等のデジタル化の推進による社会課題・地域課題解決のための実証型研究開発（第2回）

ヘルシーエイジング社会のための人-ロボット対話音声・触覚データを用いた認知症早期スクリーニング

研究概要： 日常的な対話と接触を伴うインタラクションから高齢者の認知機能の低下の予見と予防に資するデジタルツイン構築を目指す。音声認識・合成技術と触覚の入出力技術を融合・相互変換することで、**感情豊かに視聴触覚のインタラクションを行えるAI/アバターロボットを開発**し、物忘れ外来に来所する高齢者を対象にデータを収集する。従来の認知機能検査に匹敵する正診率達成を目指す。

多感覚入出力ロボット × 感性インタラクション × 専門医に匹敵するスクリーニング

= 認知症スクリーニングデジタルツイン



【研究開発期間】 令和5年度から令和7年度まで

【受託者】 国立大学法人名古屋工業大学（代表研究者）、学校法人藤田学園、国立大学法人大阪大学